

平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所 東
 コード番号 3836 URL <http://www.avantcorp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6864-0100
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,175	11.9	197	49.2	196	50.3	130	54.5
27年6月期第1四半期	1,944	4.0	132	△21.6	130	△21.6	84	△15.3

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 130百万円(51.6%) 27年6月期第1四半期 85百万円(△14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	27.91	—
27年6月期第1四半期	18.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	5,559	2,785	50.1
27年6月期	5,681	2,739	48.2

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 2,785百万円 27年6月期 2,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	9,600	7.5	935	16.1	925	16.3	572	42.3	121.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年6月期1Q	4,694,000株	27年6月期	4,694,000株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	257株	27年6月期	227株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年6月期1Q	4,693,743株	27年6月期1Q	4,693,784株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、中国の景気減速などによる将来の不透明感はあるものの、経済・金融政策の後押しもあり、企業業績や雇用情勢の改善など、緩やかな回復基調で推移しております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましては、受注競争は依然厳しいものの、企業収益の改善・設備投資の回復に伴い、競争力強化に向けたクラウドやビッグデータなど、ITサービスの投資は増加しつつあります。

このような状況下、当社グループは、わが国を代表する数々の企業グループをお客様に持ち、そうしたお客様の継続的な企業価値向上に寄与するために、①自社開発パッケージ・ソフトウェアを軸とした連結経営・連結会計に関するソリューション、②BIやERPなど専門性の高い分野におけるSIサービス、③お客様の連結会計・連結納税業務等を引き受けるアウトソーシング・サービスなど、業務効率の改善やガバナンスの高度化に資する専門性の高いソフトウェアおよびサービスを提供しております。

当第1四半期においては、「持続的な収益成長と事業拡大」「製品進化サイクルの確立」「Go Globalの実現」を目指した新中期経営計画（平成27年7月～平成30年6月）を策定し、その実現を目指してグループ一丸となって最初の四半期をスタートしました。この結果、グループ全体の売上を順調に推移させるとともに、新中期経営計画にて重要指標として位置づけている「営業利益の成長」についても着実に進行させることができました。なお、前連結会計年度に連結子会社の1社で不採算案件が発生し、当連結会計年度に発生が見込まれる受注損失に対する引当金を計上してはいたしましたが、その後の対応を進めることで、前連結会計年度に引当てた範囲内に収まると見込んでおります。

これらの結果、当第1四半期の業績は、売上高2,175,327千円（前年同四半期比11.9%増）、営業利益197,453千円（前年同四半期比49.2%増）、経常利益196,439千円（前年同四半期比50.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益130,979千円（前年同四半期比54.5%増）となりました。

なお、当社は高収益体質の維持を念頭に、将来の事業成長を牽引するプロダクト・事業の創出と、高度なガバナンス・内部統制環境の構築を実現するための戦略的な投資活動を第2四半期以降に本格化させる予定ですが、当第1四半期の業績への影響は軽微であります。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

<ライセンス販売>

連結決算関連の自社開発パッケージの売上については、決算早期化などのニーズを捉えた提案に努めたものの、前年同四半期を下回る水準となりました。その一方、より幅広い経営情報の活用に関する提案の成果として、その他の製品ライセンス販売を大幅に伸ばすことができました。この結果、ライセンスの売上高は174,190千円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

<コンサルティング・サービス>

経営管理の高度化ニーズに対応するためのコンサルティング・サービスは、IFRS（国際財務報告基準）の適用やグループ・ガバナンス高度化の要請などを背景に好調であるとともに、経営情報の活用を推進するコンサルティング・サービスも順調に推移しました。この結果、コンサルティング・サービスの売上高は1,230,752千円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

<サポート・情報検索サービス>

DivaSystem製品の保守売上は継続利用率の高さを背景に堅調に推移しており、継続的なバージョンアップによる機能強化や、サポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めております。また、連結決算業務や連結納税業務等のアウトソーシング・サービスも旺盛な顧客ニーズにより大幅に増加しており、サポート・情報検索サービスの売上高は770,384千円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

なお、当第1四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第1四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	166,448	—	174,190	—	7,741	—
コンサルティング・サービス	1,180,161	830,377	1,317,598	826,193	137,437	△4,184
サポート・情報検索サービス	636,997	886,776	899,709	1,147,614	262,711	260,837
合計	1,983,606	1,717,154	2,391,497	1,973,807	407,891	256,653

② 販売実績

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期	当第1四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	166,448	174,190	7,741	4.7
コンサルティング・サービス	1,083,901	1,230,752	146,851	13.5
サポート・情報検索サービス	693,837	770,384	76,546	11.0
合計	1,944,187	2,175,327	231,139	11.9

(注1) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

(注2) 従来、独立掲記しておりました「サポート・サービス」・「情報検索サービス」は当第1四半期より合算して「サポート・情報検索サービス」と表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前年同四半期についても組替えて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は、5,559,221千円（前連結会計年度末比122,309千円減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少465,755千円、仕掛品の増加131,694千円等により流動資産が138,296千円減少したことによるものです。

一方、負債合計は2,773,987千円（前連結会計年度末比168,049千円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少135,998千円、未払法人税等の減少105,414千円、賞与引当金の減少199,045千円、未払金及び未払費用の増加124,179千円、前受収益の増加145,096千円等により流動負債が141,840千円減少したことに加え、長期借入金の減少30,615千円等により固定負債が26,209千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益130,979千円の計上と剰余金の配当84,487千円の支払により2,785,233千円（前連結会計年度末比45,740千円増加）となりました。この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は48.2%）と、安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ464,556千円減少し、2,352,399千円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、320,124千円となりました。（前年同四半期は570,476千円の使用）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益196,439千円等であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額199,045千円や法人税等の支払額201,201千円などの季節性資金の支出と、たな卸資産の増加額131,011千円、仕入債務の減少額135,998千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、27,818千円となりました。（前年同四半期は72,602千円の使用）

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出26,473千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、116,034千円となりました。（前年同四半期は158,301千円の使用）

支出の主な内訳は、配当金の支払84,487千円と長期借入金の約定返済30,615千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成27年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループの経営の原則である「信用」「高収益」「高生産性」「高成長」および「一芸の追求」をこの序列で遵守し、新中期経営計画の目標である営業利益率の年平均成長率（CAGR）19.1%以上の実現を目指して邁進するとともに、株主資本利益率（ROE）を向上させることで株主価値を高めてまいります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動に
よる差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方
法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な
会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸
表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主
持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連
結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子
会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に
記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得
又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記
載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期
首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,816,955	2,351,199
受取手形及び売掛金	1,543,486	1,538,364
仕掛品	48,571	180,265
原材料及び貯蔵品	4,958	4,274
繰延税金資産	155,871	120,557
その他	217,331	447,720
貸倒引当金	△6,496	-
流動資産合計	4,780,678	4,642,381
固定資産		
有形固定資産	199,966	245,473
無形固定資産		
のれん	254,475	226,200
ソフトウェア	46,199	43,916
その他	935	925
無形固定資産合計	301,609	271,041
投資その他の資産		
敷金及び保証金	335,182	335,182
繰延税金資産	39,840	41,204
その他	23,725	23,725
投資その他の資産合計	398,748	400,113
固定資産合計	900,325	916,628
繰延資産		
社債発行費	527	210
繰延資産合計	527	210
資産合計	5,681,530	5,559,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	408,907	272,908
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	122,460	122,460
リース債務	3,250	3,814
未払金及び未払費用	174,453	298,633
未払法人税等	121,021	15,607
前受収益	1,100,461	1,245,557
賞与引当金	370,107	171,061
役員賞与引当金	28,127	-
受注損失引当金	76,153	66,391
その他	235,665	302,333
流動負債合計	2,670,608	2,528,767
固定負債		
長期借入金	151,290	120,675
リース債務	6,379	7,742
繰延税金負債	137	122
資産除去債務	113,621	116,678
固定負債合計	271,428	245,219
負債合計	2,942,037	2,773,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	2,222,325	2,268,817
自己株式	△127	△171
株主資本合計	2,735,797	2,782,246
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	50	47
為替換算調整勘定	3,644	2,939
その他の包括利益累計額合計	3,695	2,987
純資産合計	2,739,493	2,785,233
負債純資産合計	5,681,530	5,559,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,944,187	2,175,327
売上原価	1,183,035	1,233,742
売上総利益	761,152	941,584
販売費及び一般管理費	628,786	744,131
営業利益	132,365	197,453
営業外収益		
受取利息	226	206
為替差益	-	346
還付加算金	258	133
その他	44	78
営業外収益合計	529	766
営業外費用		
支払利息	1,451	931
支払手数料	252	506
その他	449	342
営業外費用合計	2,153	1,780
経常利益	130,741	196,439
税金等調整前四半期純利益	130,741	196,439
法人税、住民税及び事業税	4,233	31,525
法人税等調整額	41,740	33,933
法人税等合計	45,974	65,459
四半期純利益	84,767	130,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,767	130,979

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	84,767	130,979
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	9	△3
為替換算調整勘定	1,136	△705
その他の包括利益合計	1,146	△708
四半期包括利益	85,913	130,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,913	130,271
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	130,741	196,439
減価償却費	36,178	25,346
社債発行費償却	316	316
のれん償却額	28,275	28,275
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,734	△6,496
受注損失引当金の増減額(△は減少)	47,553	△9,762
賞与引当金の増減額(△は減少)	△351,695	△199,045
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△69,537	△28,127
受取利息及び受取配当金	△226	△206
支払利息	1,451	931
支払手数料	252	506
売上債権の増減額(△は増加)	△32,056	4,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,227	△131,011
仕入債務の増減額(△は減少)	11,858	△135,998
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	128,706	88,764
前受収益の増減額(△は減少)	△62,331	145,096
預り金の増減額(△は減少)	84,434	127,843
その他	△73,915	△226,144
小計	△177,486	△118,314
利息及び配当金の受取額	225	206
利息の支払額	△1,158	△816
法人税等の支払額	△392,056	△201,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△570,476	△320,124
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,917	△26,473
無形固定資産の取得による支出	△13,279	△1,345
敷金及び保証金の差入による支出	△5,504	-
短期貸付けによる支出	△1,900	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,602	△27,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,615	△30,615
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△919	△887
自己株式の取得による支出	△35	△43
配当金の支払額	△126,732	△84,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,301	△116,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	963	△578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△800,417	△464,556
現金及び現金同等物の期首残高	2,805,512	2,816,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,005,094	2,352,399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。